

金融大激動時代を生き残る

%company%

%free1%

%free2%

%name_sama%

いつもはやぶさ2をご愛読いただきありがとうございます m(_)m

前号での案内では4月は松本建設の松本社長の連載をお届けする予定でしたがはやぶさ2の発行責任者であるCap 平本靖夫の「理念経営道実戦セミナー・シリーズ」の開催が決定いたしましたので2月の佐藤大輔社長の理念経営実践例の記憶が冷めないうちに佐藤公信社長の連載を再掲し、現在が理念経営を実践すべき重要なタイミングであることを理解いただき。

この2人の社長の事例をもとに

「理念経営道実戦セミナー・シリーズ」の理解を深めていただければと思います。

ちなみに松本社長の連載は5/10(金)からスタートいたします。

お楽しみに！

■来年の春(初掲載当時)からの連帯保証の禁止により資金調達方法に激震
中小企業が激動の時代の前代未聞の大チャンスを活かす方法！

株式投資型クラウドファンディング支援で日本一の実績を持ち
多くのエンジェル投資家にファンを持つ佐藤公信氏がここだけで語る
経営理念と経営戦略を磨き上げ、誰でも思うより簡単に
失敗しても返済義務のない、子や孫に迷惑を掛けない資金を調達する方法

そのポイントについて詳しく説明いたします！

株式会社 パブリックトラスト

代表取締役 佐藤 公信

<https://publictrust.co.jp/free/profile>

- ◆第1回 銀行が貸さない!? 激動の時代の幕開け
- ◆第2回 誰でも挑戦できるようになった
- ◆第3回 資金を集められる経営計画と集められない経営計画
- ◆第4回 社長が自分らしく生きて行く

第1回 激動の時代の幕開け

目次

- ▼ 直接金融のはじまり
- ▼ お金を調達できる経営計画
- ▼ 経営者は勉強していない

■直接金融のはじまり

皆さんこんにちは、

株式会社 パブリックトラストの代表取締役をつとめさせていただいてます
佐藤公信といたします。

パブリックトラストという会社名は聞きなれないかもしれませんが
株式投資型クラウドファンディングの支援をやっている会社で
創業 22 年になります。

おかげさまで業界では、歴史、実績ともに日本一の会社とされています。

「株式投資型クラウドファンディング」をご存知でしょうか

要はインターネットを使って、エンジェルと言われる投資家から資金を集める手法です。

もちろんこれは法律に則った手法で、そもそもこの制度は
国策として1983年に始まった店頭市場の整備から始まり、
1999 年に法律が改正されスタートしたグリーンシート制度がもとになっています。

その後 2015 年 5 月に金融商品取引法などの改正が施行され、
グリーンシート市場では特別な会社しか参加できなかった制度に代わって
誰でも挑戦できる制度として登場したのが、株式投資型クラウドファンディングです。

このことによって経営者は、会社と連帯して個人的に返済義務を負う
銀行などからお金を借りる間接金融ではなく
直接金融と言われる、市場から直接経営者にとってリスクが少ない資金を調達できるよう
になりました。

私共はその先駆けとして、グリーンシート制度のスタート時代から
中小企業の経営者の方と、エンジェル投資家を結び付ける仕事をやってきました。
これを直接金融による資金調達と言います。

それに対し間接金融と言われる銀行からの借り入れでは
皆さん中小企業の経営者の方たちが、

銀行からお金を借りるとき必ず求められるものがありますよね

そうです、「連帯保証」というものが必ずあります。

連帯保証というのは、

会社がうまくいかなくなると、個人的に返済しなければならない義務が生じるもので
個人で返済できないと自己破産したり、それもできないと
子どもや孫が返済していくという非常に厳しい制度であり、国際的にもまれな制度です。

このような国は、世界中を探してもそうはありません。

世界的には経営者が市場から資金を集める「直接金融」が主流なのです。

資本主義の国ではそれが原則です。

私はそんな状態が許せず、義憤に駆られてパブリックトラストを立ち上げました。

エンジェル投資家が集まる“場”に経営者の方に登場してもらい

両者を結び付ける仕事をしています。

仮に経営がうまく行かなくても、銀行や保証協会からの厳しい取り立てが無く、

もちろん、孫子の代まで代々返済を返済していく必要もない

「有限責任」である直接金融では安心してチャレンジすることができます。

■お金を調達できる経営計画

それでは、うまくいかなかった場合には返さなくてもいいお金を出してくれる

「エンジェル投資家」はどこにいるかというと

それは、金融庁から免許を与えられたクラウドファンディング専任の証券会社に登録して
います。

登録者の 1/3 は投資でキャピタルゲインを得ることが目的の投資家の方たちですが
2/3 ぐらいは上場企業の部長や課長、もしくは不労所得を得ていらっしゃる方たちで
世の中のお役に立ちたい、社会貢献価値で投資の判断基準として考えていらっしゃる方
たちです。

その方たちにお金を出してもらおうのですが、もちろん審査があります。

海のものとも山のモノともわからないものに、お金を出してくれるわけがありません。

上記のクラウドファンディング専任の証券会社による審査です。

その審査に通るお手伝いを我々がしているのですが

経営的なレベルが高い目の肥えた方たちの審査ですから、自ずからハイレベルなものにな
ります。

その審査に通るためには、標準的な中小企業の経営者以上の「経営能力」とそのことをエンジェル投資家に納得してもらえるための「説明能力」が必要になります。

皆さんもそうでしょうか、
自分の会社はダメかもしれないと、最初から思っている経営者はいらっしゃらないでしょう。
ほとんどの経営者は自分の事業がうまく行くと思っています。

そのことをエンジェル投資家に、客観的に論理的に説明し納得してもらわないといけないのです。

それではどうすればいいのでしょうか？

必要なことはたった二つのことです。「経営理念」と「経営戦略」です。
具体的には、社長が自分自身を見つめて
「何のために事業をしているのか」「そのためにこれから何をしていくのか」
を突き詰めて「経営計画」を整理することです。

これさえできれば投資家が納得します。

そのキモである、この2つをそれぞれ明確に整理構築することによって投資家が「この会社はうまく行きそうだな」と判断するのです。

■ 経営者は勉強していない

中小企業の経営者の方に少し苦言を呈すると
エンジェル投資家の方たちは勉強していらっしゃいますが
経営者は勉強が足りないと思います。

今の世の中、国の制度の下では、学べば得する情報はたくさんあるのに得ようとしていない。
同じ返済義務がないお金で、あまり役に立っていない楽にもらえる補助金助成金には飛びつくのに
本当に経営に役に立つが決して楽ではない、直接金融の事は知ろうとしない。

皆さん今年（2022年）の11月1日に連帯保証制度が廃止になったのをご存じですか？
銀行から融資を受ける際に連帯責任をつけることが原則禁止になったのです。

金融の上層部では、30年間施行されていた金融検査マニュアルが廃止されたことと

時を同じくして起きたこの行政の180度の方針転換で
てんやわんやの大騒動になっています。

連帯保証が禁止ということは、銀行は担保の一部が取れなくなるという事です。
担保価値の査定だけで、経営者の経営能力や事業計画の妥当性を見てこなかった銀行は
今大慌てで審査能力を磨こうとしています。

(30年間思考停止になっていたのですからどうなることやら)

そこで経営者側から見た場合に問題になってくるのが貸し剥がしです。
現在金利だけを払っていて元本を返済できていない企業は
銀行が存続を許してくれないでしょう。

でも逆に言うと、
経営能力があり、未来の目標に向かって進んでいくことを証明できる企業にとっては
銀行からも借りやすくなる大きなチャンスでもあるのです。
直接市場からでも銀行からでも資金を調達できるようになるのです。

前述のように経営的に厳しい会社は淘汰されていきますから、
いい会社は相対的に伸びるのです。

まさに前代未聞の大チャンス到来です。

こんないい時代にたまたま現役の社長をしていることを、いかさない手はありませんよね。
あなたは活かしますか？ それとも様子見を決め込みますか？

いかがだったでしょうか？

次回は

■来年の春(初掲載当時)からの連帯保証の禁止により資金調達方法に激震
中小企業が激動の時代の前代未聞の大チャンスを活かす方法！

株式投資型クラウドファンディング支援で日本一の実績を持ち
多くのエンジェル投資家にファンを持つ佐藤公信氏がここだけで語る
経営理念と経営戦略を磨き上げ、誰でも思うより簡単に
失敗しても返済義務のない、子や孫に迷惑を掛けない資金を調達する方法

◆第2回 誰でも挑戦できるようになった

株式会社 パブリックトラスト
代表取締役 佐藤 公信

<https://publictrust.co.jp/free/profile>

★ オリエンテーション・ZOOMセミナー（無料）を45分で行いますので、

改めて「はやぶさ」にて日時をご案内申し上げます。

■ 料金等は：後程ご案内申し上げます。

●●● 経営者・経営支援家・学生（専門・大学）で料金と受講料金が変わります。

*お問い合わせは「<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>」まで

~~~~~  
バックナンバーは下記の URL を確認してください。

[https://rinenkeieishi.net/mail\\_magazine/hayabusa.php](https://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php)

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻を
よろしく申し上げます。

第 646 号 24・04・12（金）にお送りいたします。

■ **来年の春(初掲載当時)からの連帯保証の禁止により資金調達方法に激震**
中小企業が激動の時代の前代未聞の大チャンスを活かす方法！

株式投資型クラウドファンディング支援で日本一の実績を持ち
多くのエンジェル投資家にファンを持つ佐藤公信氏がここだけで語る
経営理念と経営戦略を磨き上げ、誰でも思うより簡単に
失敗しても返済義務のない、子や孫に迷惑を掛けない資金を調達する方法

そのポイントについて詳しく説明いたします！

株式会社 パブリックトラスト

代表取締役 佐藤 公信

<https://publictrust.co.jp/free/profile>

◆ **第2回 誰でも挑戦できるようになった**

なお内容は予告なく変更する場合がありますので、ご承知ください。

■ **LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、**
私たちは「世のため・人のため」になれない。
とクルー一同尽力しております。

■ **平本靖夫、50年の経営支援家人生の集大成 第1弾！**

『**合本主義「義利合一」の時代がきている**』

Amazon kindle にて発売中！！ 2000円

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。
では、また次号で元気にお会いしましょう！

◆発信日・・・・・・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・・・・・・Captain 平本靖夫

◆編集長・・・・・・・・岩下一智・(株)I&C・HosBiz センター 執行役員
マーケット・クリエイター(MRC)・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

<https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html>inoue

Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>)

*お問い合わせは「<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>」まで

ご愛読ありがとうございます

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html>hiramoto

◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は

メールアドレス：kazu_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本靖夫、

編集長：岩下一智 MRC